第２回　立命館大学メタバース教育研究会 IRIS

メタバースで新しい教育を探る

東京大学大学院情報学環・助教
ゲスト 畑田 裕二氏

オンライン参加OK！

11/19 火 15:00-18:00

立命館大学 ROOT
（グランフロント大阪 北館JAM BASE 5階）
アクセス https://www.ritsumei.ac.jp/root/pre/

詳細・お申込
詳細およびお申し込みはホームページをご覧ください。

立命館大学デザイン科学研究所は、東京書籍株式会社と、2024年7月よりメタバースを活用した新しい教育に関する共同研究を開始しました。メタバース研究会IRISでは、メタバースの利用をスタートラインとして、次世代オンラインプラットフォームを共創するステークホルダーと共に学ぶ場として、そして交流の場として開催いたします。第2回は、東京大学大学院情報学環・助教の畑田裕二氏をゲストスピーカーにお招きして、「メタバースとVR学の交差点」についてご講演いただきます。その後、共同研究の進捗報告と参加者の皆様によるディスカッションを開催いたします。ご関心ある方はぜひご参加ください。

プログラム

- 14:30 開場・受付開始
- 15:00 オープニング
- 15:10 講演
- 16:30 共同研究報告
- 17:20 ディスカッション
- 17:50 クロージング

終了後、近隣の飲食店にて懇親会を開催いたします。
ご希望の方はご参加ください。

講演

メタバースとVR学の交差点

バーチャルリアリティ（VR）は、人工的に現実感をつくり出す工学技術として発展してきた。従来のVR研究では、VR体験を「つくる」ことや、実験室の中で心理学的な方法によって経験を測定することが主要な問題であった。他方で近年では、安価で高品質なVRデバイスが家電量販店で購入でき、アバターで他者と日常的な交流を行うメタバースプラットフォームも人気を博していることで、VRをどのように使うかといった応用や、他者とどのような経験をするかといった社会的な側面が重要な研究課題として立ち現れている。本講演では、VR分野の歴史的な変遷を簡単に概観した上で、VR学がメタバースでの生活にどのようにコミットできるのか、そしてメタバースという現場と交差することによってVR学がどのような新たな展開を迎えつつあるのかについて検討する。

畑田 裕二氏（東京大学大学院情報学環・助教）

2018年に東京大学工学部電子情報工学科を卒業、2020年に同大学大学院学際情報学府修士課程、2023年に博士課程を修了。同年より現職。博士（学際情報学）。
専門はアバターと自己、Virtual Reality（VR）、Human-Computer Interaction。「なりたい自分」をデザインする方法論について、身体所有感や行為主体感といった現象学的な側面から、アイデンティティや自己概念といった物語的な側面まで幅広く研究。

お問い合わせ
立命館大学研究部 OICリサーチオフィス
072-665-2570
oicro@st.ritsumei.ac.jp

立命館大学 メタバース教育研究会 IRIS Innovative Research in Immersive Systems for Education
RITSUMEIKAN
東京書籍